
リーディングDXスクール

ICTを活用した授業実践 No.2

— 長崎市立西泊中学校 —

数学・社会・国語

リーディングDXスクール

今年度、西泊中学校は文部科学省のリーディングDXスクール事業の研究指定を受け、クロームブックやクラウド環境を活用した授業実践や校務の効率化に取り組んでいます。

今回は、今年度実施した、ICTを活用した校内研究授業(数学、社会、国語)を紹介します。

<リーディングDXスクールとは>

“リーディングDXスクール”は、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための事業です。

リーディングDXスクールサイト(<https://leadingdxschool.mext.go.jp/>) より

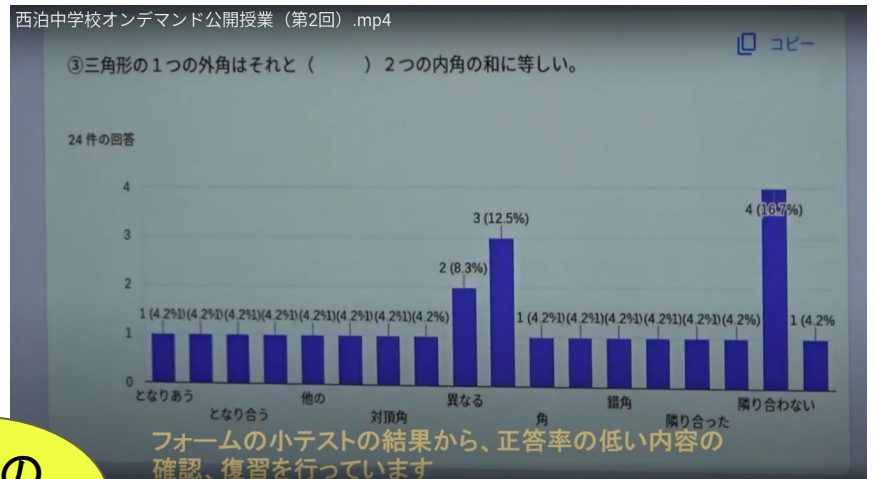
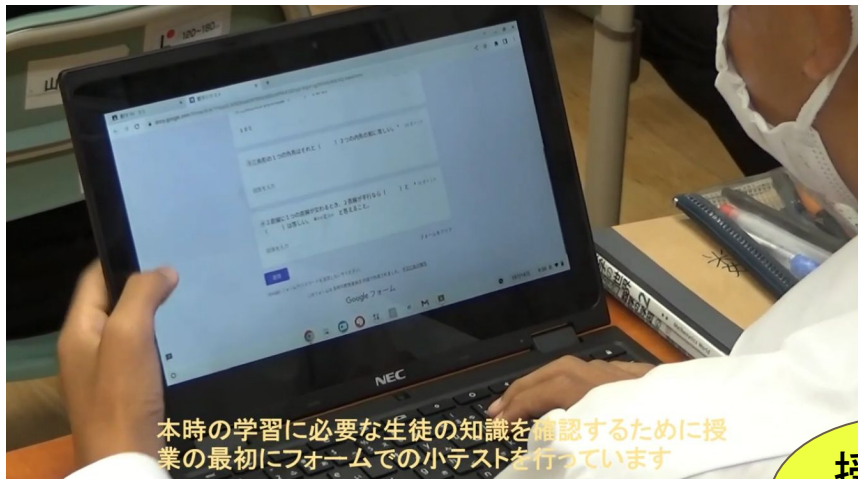
DX・・・デジタルトランスフォーメーション

1 数学科(2年生) 本時のねらい

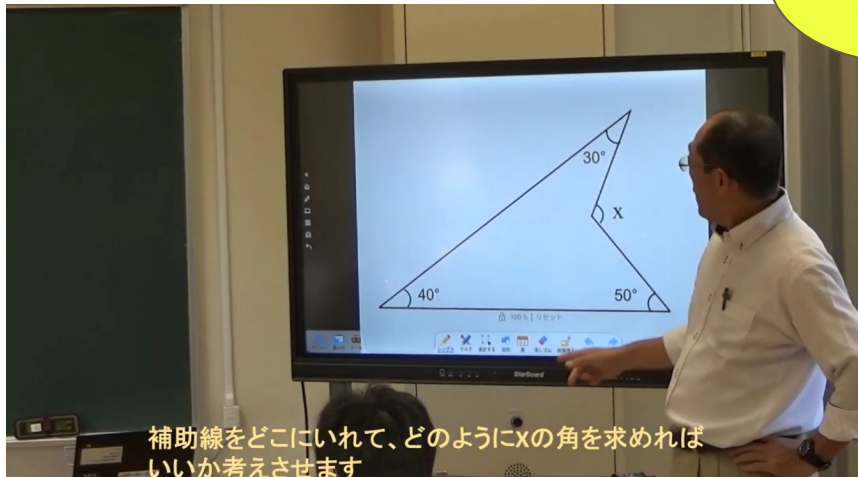
| | |
|------------------------|--|
| 単元名 | 角と平行線 |
| 本時のめあて | 実測や実験で予想した性質を、図形の性質を使って説明する方法を考えよう |
| 本時のまとめ | 三角形の内角の和や三角形の外角の性質、平行線の性質を用いて、いろいろな角度を求めることができる |
| ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び | フォームを使っての既習内容の復習と定着、形成的評価 クラスルームとスライドを使った思考の共有 スライドを使って自分の考えを伝え合う スライドを使っていろいろな考えを全体で共有 |

1 数学科(2年生) 本時の内容

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | Chromebookの活用 |
|----|---|---|---|
| 導入 | 小テスト 「三角形の内角の和は 180° である」 「平行線の同位角、錯角は等しい」 「三角形の外角はそれと隣り合わない2つの内角の和に等しい」の内容について | 「三角形の内角の和は 180° である」 「平行線の同位角、錯角は等しい」 「三角形の外角はそれと隣り合わない2つの内角の和に等しい」を確認する | 小テストをChromebook（フォーム）で送信して正答率を確認する。 ※正答率が低い問題については確認する。 |
| 展開 | 補助線を1本引いて、 $\angle d$ の大きさを求めなさい。 ・Chromebookで問題を送信して考えさせる。 【個別最適な学び】 ・できている生徒の補助線を電子黒板に映し説明させる。【協働的な学び】 ・別の引き方を考えて発表させる。 【個別最適な学び】 【協働的な学び】 | 「内角の和」や「外角」「平行線の同位角、錯角」など数学用語を使わせる。 | Chromebook（スライド）に課題の図を送信して、できている生徒のChromebookの画面を電子黒板に映して説明させる。 |
| 終末 | 類題を解いて確認する。 発展問題にチャレンジする（星形）。 | 「 $a + b + c = d$ 」になることに気付いた生徒がいたら紹介する。 分かった生徒は困っている生徒に教えに行く。 | 課題をChromebookで送信して正答率を確認する。 |

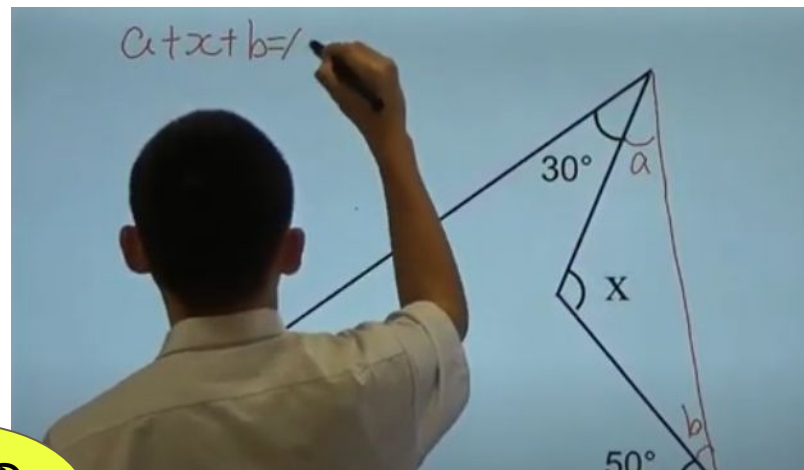


授業の様子

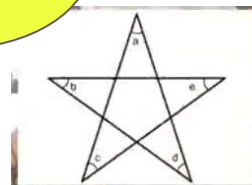
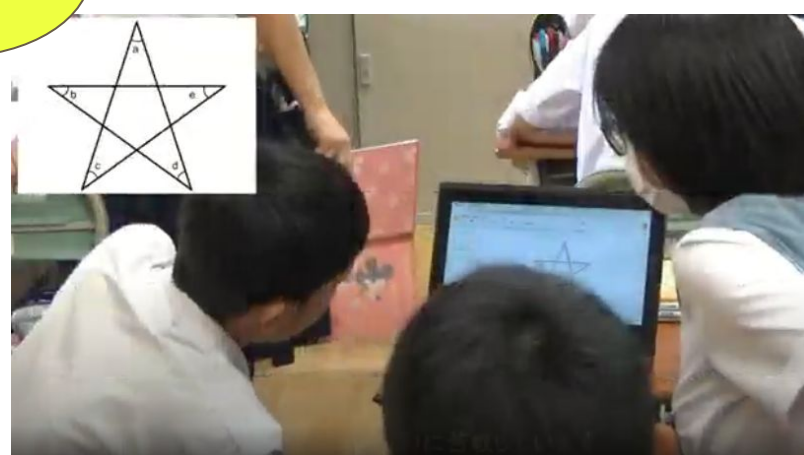
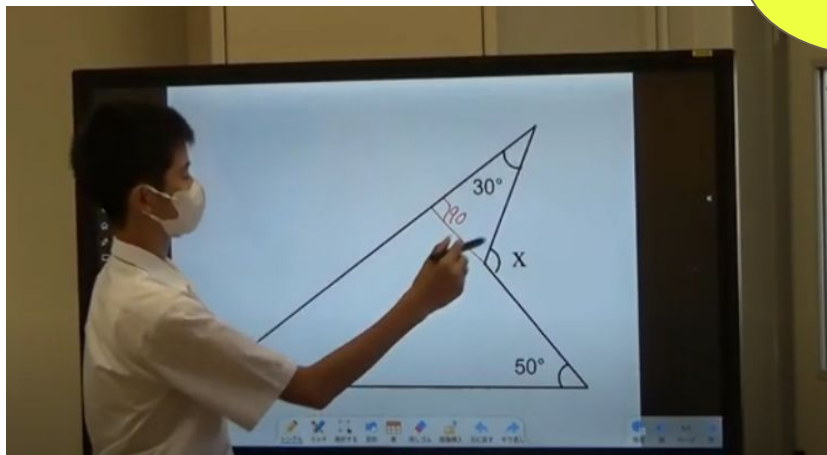




「あ、そうか」「おーやるやん」



授業の
様子

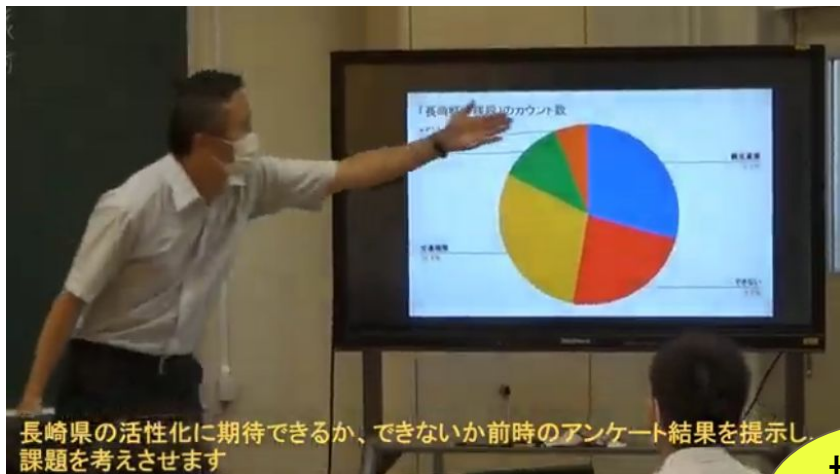


2 社会科(2年生) 本時のねらい

| | |
|------------------------|---|
| 単元名 | 近畿地方・都市・農村の変化と人々の暮らし |
| 本時のめあて | 100年に一度の変革期を迎えている長崎県の取組に私達はどのようにかかわることができるだろうか |
| 本時のまとめ | 近畿と長崎を比較し、良さや課題を理解し、長崎の未来のために何ができるか考えることができる |
| ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び | フォームを使った思考の共有 クラスルームとジャムボードを使った思考の共有 スライドを使った協働編集 |

2 社会科(2年生) 本時の内容

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | Chromebookの活用 |
|----|--|---|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none">○前時の学習を振り返る。○問いの内容を確認させ、前時に調べた長崎県の取り組みと「長崎県の取り組みに期待できるか」の質問に対する結果を確認させる。 | <ul style="list-style-type: none">○近畿地方との比較、NagasakiRevolution4.0に関して調べた情報をまとめておく。○質問に対する回答を掲示する。 | <ul style="list-style-type: none">○資料の提示 ジャムボード |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none">○前時に個人で、判断した内容について班になり、班としての立場を設定させる。【個別最適な学び】○班で個人の課題と理由、課題解決に向けた提案を出し合わせ、班で発表する案を1つに絞る。○長崎や近畿地方の特色を生かした対策についてグループで話し合う。○スライドやポスターを作成する。【協働的な学び】 | <ul style="list-style-type: none">○活性化に期待「できる」「できない」理由○高齢化や人口減少が進んでいる○賃金が低い○新幹線の活用○教科書P276～279の「地域の将来像」を参考に提案や解決策をまとめさせる。○写真やグラフなども活用し、理由も考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none">○班での話し合い活動（スライド） ○完成したスライドは、「2-2社会」に保存し、共有するよう指示をする |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none">○グループごとにポスターのキャッチフレーズとその理由について発表させる。 | <ul style="list-style-type: none">○本時作成したスライドをクラスルームで提出させる。 | |



長崎県の活性化に期待できるか、できないか前時のアンケート結果を提示し課題を考えさせます



ジャムボードを共有し、班で話し合います

授業の様子



ジャムボードを使って、「活性化に期待できる」「活性化に期待できない」か、班としての立場を話し合っています



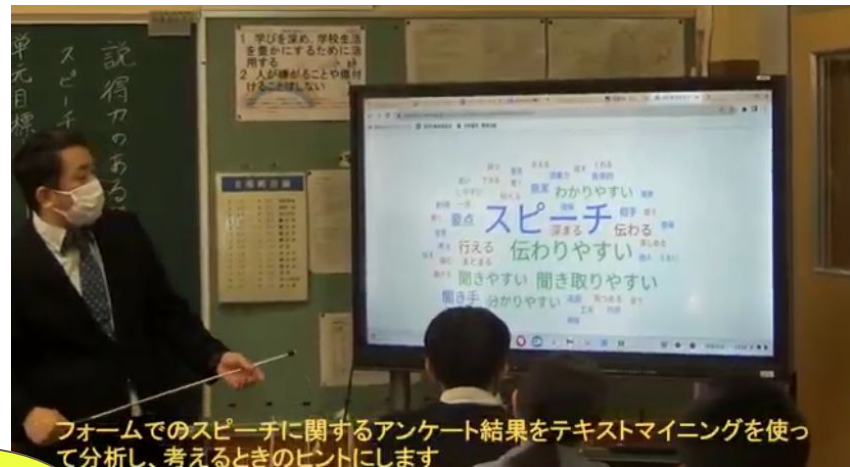
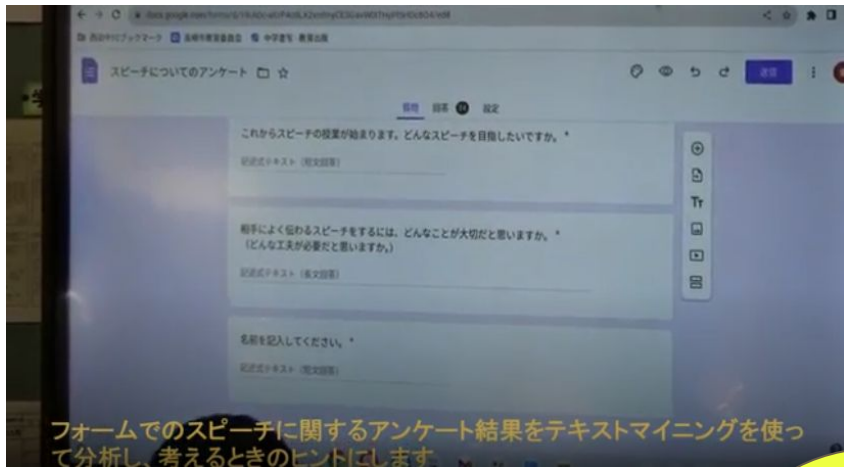
長崎県を活性化させる課題解決のための提案をスライドを班で共有し、まとめています

3 国語科(3年生) 本時のねらい

| | |
|--------------------------|---|
| 単元名 | スピーチで思いを届ける 説得力のある構成を考えよう |
| 本時のめあて | 自分の思いを届けるために必要な工夫を考える |
| 本時のまとめ | 聞き手を意識した工夫を用いることで、自分の思いがよりよく伝わる |
| 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の工夫 | フォームを使った思考の共有 テキストマイニングを使った分析 ドキュメントを使った考えの生理と思考の共有 |

3 国語科(3年生) 本時の内容

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | Chromebookの活用 |
|----|--|--|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none">○前時の振り返り<ul style="list-style-type: none">・スピーチの構成について○めあての確認○フォームの回答確認【協働的な学び】○課題解決の手立てを全体で確認する。 | <ul style="list-style-type: none">・事前にとっておいたアンケート結果を、テキストマイニングを用いて生徒に示す。 | <ul style="list-style-type: none">・Googleフォーム・AIテキストマイニング |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none">○個人で、課題に対する自分の考えを書く。【個別最適な学び】○自分の考えを班で発表し、話し合う。【協働的な学び】 ○班で出た意見を全体に共有する。【協働的な学び】 | <ul style="list-style-type: none">・それぞれの考えを確認する。・課題に対する自分の考えを明確にしたうえで、話し合いができるようにする。・話し合いで出た意見を黒板に掲示し、全体で共有する。 | <ul style="list-style-type: none">・Googleドキュメント |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none">○スピーチに必要な工夫点をまとめる。 ○スピーチの内容を検討する。 | <ul style="list-style-type: none">・「構成」「内容」「表現」の観点からスピーチに必要な工夫を確認する。・それぞれの工夫点を確認する。 | |



授業の様子

